

心のバリアフリー教育グッドプラクティス 応募資料

学 校 名	神崎町立米沢小学校	
ア 全校児童生徒数	38名	(令和4年5月1日現在)
イ 実践対象 (学年・人数など)	① 3年生・6名 ② 5、6年生・13名 ③ 3、4年生・14名 ④ 全校児童・39名 ⑤ 全校児童・39名	
ウ 実践内容 (実施時期・概要など) ※画像の挿入可	① 「花いっぱい運動」プロジェクト グループホームや町公共施設に自分達で育てた花を届けた。 5月：「花いっぱい運動」に向けた種まき 7月：プランターにメッセージを添え、お届け   11月：グループホーム前の畑で、芋掘り交流 ② 香取特別支援学校交流会(6月)〔3年振りの直接交流レク大会〕 昭和56年に始まった交流活動。5、6年生が香取特別支援学校に出向きゲームをしたり、ダンスを踊ったりした。 ③ 福祉体験学習 町社会福祉協議会の協力で、3、4年生が体験活動を行った。 10月：車イス、高齢者疑似体験 12月：盲導犬とのふれあい体験 ④ 日本財団パラスポーツサポートセンターが行う「あすチャレ！スクール」の開催(11月) パラ陸上の永尾嘉章さんを迎えて、講話、体験活動を行った。 ⑤ 「大平台フェスティバル」の開催(11月) 地域交流事業として本校が長く実施している行事である。地域高齢者の参加募集など町社会福祉協議会の協力を得て実施。屋内で昔遊び交流などを行っていたが、屋外でグラウンドゴルフ交流会を実施した。最後には児童の合唱発表会も披露した。   	

<p>エ 実践の普及啓発 (地域等との交流や 広報方法など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①・学校Webページに活動を紹介 ・町広報紙に活動を掲載 ②・学校Webページに活動を紹介 ③・学校Webページに活動を紹介 ④・学校Webページに活動を紹介 ・パラスポーツを紹介する掲示コーナーを校内に設置 ⑤・学校Webページに活動を紹介
<p>オ 実践成果 (児童生徒の変化など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①・「花いっぱい運動」では、グループホームで入所者の方々がとても喜んでくれ、児童は自分達の活動がこれだけ喜んでもらえたことに感激した。また、そのお礼として芋掘りの招待を受け、全校で参加することとなった。 ②・ゲームを運営するにあたり、どのような補助具があったらより参加しやすいかや楽しんでもらえるかなどを、相手の立場になって考えるようになった。 ③・車イスを押し段差を下る際、「段差を降りますよ」と声を掛ける実践も見られた。 ④・車イスの方の大変さについて話を聞いて、「車イスの方の段差や坂道で大変そうにしていたら、声を掛けて手伝うようにしたい」という感想をもつ児童がいた。 ・「あきらめない心」が大切という永尾氏の話に感銘を受けた児童が多く、その後行われたマラソン大会でも歯を食いしばり、最後まで懸命に走りきる児童の姿が見られた。 ⑤・学校に地域の方を迎える立場を意識し、同じグループになった方に児童から積極的に話しかける場面も見られた。
<p>カ 次年度の予定 (課題や改善策など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①・グループホームとの交流は継続させたい。先方も好意的に考えてくれているが、学校以上に新型コロナウイルス感染対策に配慮が居る施設なので、どのような活動ができるか慎重に検討したい。 ②・長く続いている交流であり、継続させたい。感染状況に応じ、対策を考えながら実施したい。 ③・社会福祉協議会も啓発活動として進めていただいております、継続させたい。 ④・パラアスリートに接する貴重な機会だった。今後もこのような企画に積極的に参加したい。 ⑤・これまで、昔遊び、郷土料理作りを行っていた。感染症の影響で今年度は屋外の活動として実施した。今後もどのような内容、方法なら実施可能かを考えながら継続させたい。
<p>キ 添付資料 (広報資料・Web記事など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①・神崎町広報(8月号)、学校Webページ (7月7日更新、11月7日更新) ②・学校Webページ(6月29日更新) ③・学校Webページ(10月13日、12月12日更新) ④・学校Webページ(11月18日更新) ⑤・学校だより(12月号、家庭配付、地域回覧)